

平成29年度学校経営の構想

1 教育方針

公教育の精神にのっとり、『杜の都の学校教育』の趣旨に基づき、児童の実態や地域の特色を踏まえ、一人一人の望ましい個性や能力を伸ばし、時代の変化に主体的に対応できる児童の育成に努める。

2 教育目標

心身ともに健康で、自ら学び、共に励み、
たくましく未来を生き抜く児童の育成

めざす児童像

- 心豊かな子ども 【なかよく】
- 自ら学ぶ子ども 【かしこく】
- たくましい子ども 【たくましく】

めざす学校像

子どもが楽しみに登校し、楽しく学べる学校

- 安全で安心な学校
＜健康・安全で、元気いっぱい活動できる環境を整える＞
- 学ぶ喜びにあふれる学校
＜楽しく学び、分かる喜びを味わう授業を充実する＞
- 地域とともに歩む学校
＜地域の人々との交流を推進する＞

めざす教職員像

- 自ら学ぶ教職員
＜分かる授業、児童理解に基づいた授業の推進に努める教職員＞
- 使命感にあふれる教職員
＜人間尊重、教育職員としての責任を自覚し、教育愛に満ちた教職員＞
- 信頼される教職員
＜児童・保護者・地域の人々からの信頼に応える教職員＞

3 学校経営の基本的考え方

- 安心して過ごせる学校にするため、地域との連携による安全確保に努める。
また、施設設備の整備や点検を確実にを行い、安全で美しい環境を整える。
- 確かな学力の育成を目指して積極的に授業研究を実施し、教師の授業力の向上を図る。
- 地域の環境や施設等を積極的に活用するとともに、学校の様子を詳しく広報する。
また、協働型学校評価を推進し、学校・家庭・地域が協働して児童のよりよい姿を実現するための改善活動を行う。

4 重点施策 ◎は重点事項

	重点目標	努力事項
地域とともに歩む学校	地域の教育力の活用	○ 学びの連携の推進（地域の人材の活用） ○ 地域団体との連携による安全の確保
	評価を生かした学校づくり	○ 積極的な情報の公開（学校だより，Web ページ等） ○ 協働型評価の充実（あいさつ、健康・運動、読書）
新たな防災教育	学校防災体制の拡充	○ 災害対応マニュアルの改善と徹底 ○ 緊急時の家庭との連携（一斉メール配信等）
	防災対応能力の育成	○ 多様な防災訓練の計画的な実施 ◎ 副読本等を活用し，防災教育の日常化を図る。
豊かな心と健やかな体の育成	心の教育の充実	◎ いじめ防止対策の徹底 ○ 集団生活におけるきまりの指導
	健康な体づくりの推進	○ 生命尊重と安全な行動の意識化・習慣化 ◎ 新体力テストの結果を踏まえた基礎体力づくり
確かな学力の育成	学習指導の充実	○ 思考力・判断力・表現力を育てる学習の充実 ○ 基礎的・基本的内容の指導の徹底
	家庭学習の習慣化	○ 家庭との連携による基本的な学習習慣の育成 ○ 標準学力検査等の結果と対策の公表
自分づくり教育の推進	たくましく生きる力の育成	○ 望ましい人間関係づくりの推進（かかわる力） ○ 自分づくり教育年間指導計画の実施と改善
	仙台ステューデントシティの活用	○ 仙台ステューデントシティの活用方法の工夫及び実践
安全で安心な学校づくり	安全確保の体制づくり	○ 問題発生時の組織的な対応 ○ 地域の実態を踏まえた安全指導の徹底
	環境整備の推進	○ 校舎内外の安全点検の徹底 ○ 学習環境の整備・美しい学校環境づくり
教職員の資質・能力の向上	授業力の向上	○ 積極的な授業研究の実施（共同研究を中心に） ○ 個に応じた適切な指導と多様な指導方法の工夫
	信頼される教職員	○ 教職員が子どもに向き合える体制づくり ○ いじめや体罰の未然防止・会計の適正な処理
個に応じた指導の充実	特別支援教育の充実	○ 一人一人の特性を大切にする配慮と家庭との連携 ○ 交流教育の充実と深化
	国際理解教育の充実	◎ 外国人児童及び保護者の理解と不安の解消 ○ 他国の文化や伝統を尊重しようとする態度の育成

5 研究を通して取り組む重点目標

〈健康な体づくりの推進〉

本校児童の体力・運動能力の低下は著しく、危機的状況にあるととらえている。そこで平成27年度から研究教科を体育科とし、以下の3点に視点を当てて対策を検討してきた。

- ① 新体力テストの結果を踏まえた基礎体力づくり。
- ② 体育科の授業を通して、運動の楽しさを味わうとともに、進んで体を動かして体力を高めていこうとする運動習慣の育成。
- ③ 健康な生活習慣の育成。

平成29年度協働型学校評価の推進について

1 平成29年度協働型学校評価重点目標について

- はやね、はやおき、たのしくうんどう。
- すすんであいさつ。

2 具体的な方策

	はやね、はやおき、 たのしくうんどう	すすんであいさつ
学級・学年・ 学校の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○新体力テストの結果を踏まえた基礎体力づくり(外遊び・水泳・縄跳び等の各種カードの活用、トレーニング器具等の設置) ○体育科の授業内容の充実と十分な運動量の確保 ○休み時間の運動・遊びを通して、運動の楽しさを味わわせるとともに、運動習慣を育成 ○運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、体育・健康に関する指導等の改善 ○ポスター掲示による啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつに係る学級指導 ○ポスター掲示による周知活動 ○児童会や小中連携の取組 (あいさつタイム等) ○教室や廊下、登下校時の声掛け(教職員による働き掛け)
家庭の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○規則正しい生活習慣へ向けた取組(早寝・早起き・朝ごはん) ○学校・地域と連携した運動習慣の推進(縄跳び、親子スポーツ等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭でのあいさつの推進 ○子ども会の取組
地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○地域、PTA、子ども会による運動・遊び等の体育的イベントの企画及び参加の奨励 	<ul style="list-style-type: none"> ○登下校時の声掛け ○防犯ボランティアによる積極的な声掛け

3 継続目標

「すすんで本をよむ」については、今年度も継続する。

《学校の取組例》

- ・読書タイムに係る学級指導
- ・読書タイムの活用
- ・図書時間の有効活用
- ・図書室利用の推進
- ・年間目標冊数の設定
- ・「おはなしぽけっと」による活動

《家庭の取組例》

- ・読書の時間確保
- ・読書ができる環境整備
- ・親子読書タイムの取組
- ・公共図書館の利用

《地域の取組例》

- ・地域施設(児童館等)における読書活動
- ・児童館における読書タイムの設定